

黒毛和種における過剰排卵処理後の卵巢反応の推定

【 1 成果概要】

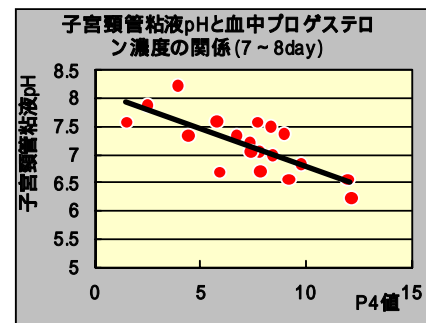
過剰排卵処理開始時の血中プロゲステロン濃度を測定することで、処理後の卵巢反応を推定することができます。

黄体期、特に発情周期 7~8 日目の子宮頸管粘液の pH は血中プロゲステロン濃度と負の相関を示すことから、発情周期 7~8 日目の子宮頸管粘液 pH を測定することで、間接的に過剰排卵処理に対する卵巢反応を推定することができます。

子宮頸管粘液 pH は N J カテーテルを用いて採取し、採取後ただちに携帯式 pH 測定器（ラコムテスター-pH 計）で測定します。

黄体数	頭数	プロゲステロン濃度 (ng/ml)		黄体直径 (処理開始時, cm)
		7~8DAY	処理開始時 (9~14日)	
1~5個	8	5.46 ± 2.71 a	5.96 ± 1.87 a	2.25 ± 0.25
6~8個	7	-	6.53 ± 3.24	2.08 ± 0.55
9個以上	33	7.93 ± 2.72 b	11.04 ± 3.37 c	2.12 ± 0.44

ab < 0.05, ac < 0.01



子宮頸管 粘液 pH	7~8day				過剰排卵処理開始時 (9~14day)			
	頭数	平均 回収卵数	平均 黄体数	反応不良牛 頭数 (%) *	頭数	平均 回収卵数	平均 黄体数	反応不良牛 頭数 (%)
6.00~6.99	11	12.5 ± 7.3 a	14.0 ± 5.6 a	1 (9.1) a	3	8.7 ± 16.3	16.3 ± 7.1	0(0)
7.00~7.79	19	8.5 ± 5.3 a	10.3 ± 4.8 b	3 (15.8)	6	5.8 ± 9.7	9.7 ± 5.8	1(16.7)
7.80以上	2	0.5 ± 0.7 c	3.0 ± 1.4 c	2 (100) b	0	ab < 0.05, ac < 0.01, bc < 0.05		

【 2 効果】

供卵牛の効率的な選定及び過剰排卵処理経費の節減につながります。

【 3 留意事項】

- 1 黒毛和種供卵牛に FSH 製剤 20AU を用いて処理をした成績です。
- 2 血液プロゲステロン濃度および子宮頸管粘液 pH により、過剰排卵処理後に無発情であった牛を選定することはできません。
- 3 子宮頸管粘液 pH6.0 未満のものについての卵巢反応との関連は、現時点で不明です。

【 4 適応対象】

獣医師